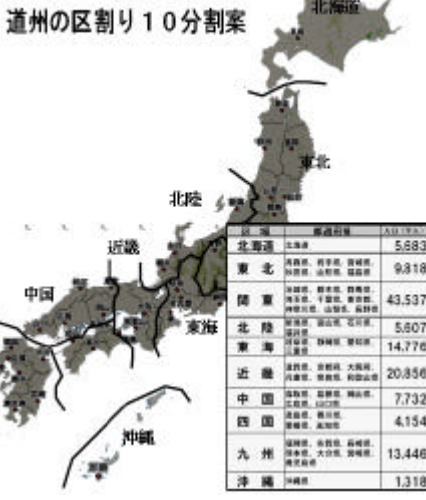


財界主導・国民不在の道州制論議では困る！ 広域合併と道州制

先の沼津市長選は、広域合併推進を公約に掲げた栗原裕康氏が当選した。元々栗原氏は三島市の出身。今までの三島市は合併に消極的であったが、栗原市長誕生により、今後、沼津・三島の合併問題は促進されるのではという噂がある。その真偽は別として、最近、政府、財界、識者等から道州制についての話題がわかに活発になった。今年三月、経団連のまとめた「道州制の導入に向けた第2次提言」中間報告では「一五年には道州制導入に移行したい考えのようだ。そこで合併問題、道州制について探ってみよう」

平成の大合併
平成七年に合併特例法が改定され、合併特例債制度や政令指定都市への移行で、人口要件緩和等により合併論議が加速された。その後、地方交付税の削減で一層拍車がかげられた。合併特例債は、合併後の事業等について、合併後十年に限り、借入れ入れている地方債で、元利償還金の七〇%を普通交付税によって措置されるというものである。この特例債は平成十七年度までの期限付きで、駆け込み合併が相次いだ。

一方、三位一体改革の下、地方交付税が大幅に削減され、地方交付税への依存度が高い市町村には合併への圧力となった。平成十七年四月、合併新法に移行し、合併特例債はなくなったが、平成の大合併が相次いだ。



併せて三島市民の関心は、そう高くない。緊急に、広域で行なわなければならない行政課題があるわけでもなく、多くの市民は税金が安くなり住民サービスが向上するならば合併も考えるが、今は、どんな合併を選んでもそんな可能性は見えない。

道州制に現実味はあるのか？
今、市町村合併の次は道州制という流れが意図的に作られようとしている。財界と政府が推進し、安倍政権時代に設置された「道州制ビジョン懇談会」は、今年三月、中間報告を発表し、二〇一八年までには道州制の完全実施を掲げている。

裁判員制度

来年五月 二日から 裁判員制度がスタートする。裁判員に指名されたら拒否できないというが、私は大いに期待していた。五〇年前、静岡県は「冤罪銀座」といわれ、幸浦・二俣・島田・下田などで冤罪が多発し、三島の丸正事件は元被告の死により未解決で終わったが、清水市の二件のうち袴田事件は未だに裁判が続いている。冤罪が後を絶たない。

二人の怒れる男を、裁判員が事前に資料を選び、お膳立てして誘導する危険もある。裁判員がメディアの事前報道に流されず、供述書を批判できるか疑問。法廷は被告への反発や被害者への同情の場ではなく、国家秩序の維持が目的だが、情緒的な市民がそれを理解できるか？

アメリカの圧力で始まり、問題だらけ！
一〇月二日(成真寺)伊藤真さんの講演を聞いた！
力の規制緩和と構造改革・市場開放要求の圧力を受け、九〇年代に導入が決まったという点だ。憲法九条改訂(改悪)と同じく、これもアメリカの圧力だったとは！

市民参加の体裁が誤判を正当化して裁判批判を妨げないか。司法の民主化は「民衆の司法監視」に逆行しないか。判断が難しい刑事裁判でなく、市民が日ごろ接する民事裁判から開始すべきだ。

利用され、求めていた陪審制は裁判員制度にすり替えられた。焦点だった裁判員の人数も、裁判官三、裁判員六となった。諸々の規制緩和と同じく、小泉改革のツケである。冤罪をなくすために陪審制を求めた日本弁

評決に加わり、裁判員が誘導される危険がある。6人を最終的に選ぶのは裁判官だが、御し易い裁判員が選ばれる可能性がある。判決後も評議の守秘義務があるが、誤判と認める場合に自分の考えを発表できないのは疑

10/24 JRの採用差別問題の解決を求める集い!

十月二十四日、JR採用差別問題の解決をめざす中央大会が、日比谷野音ホールで開かれ、三島からも四名参加した。会場は雨の中、全国から労働組合、支援団体の関係者等、一万二千人以上が参加した。

10/26 小出裕章氏講演会

巨大地震原発を襲うとき

十月二十六日の原子力の震災設計の安全審査は破綻しており、老朽化した浜岡原発に東海大地震が襲えば、東海・関東一円、予想をはるかに超える被害が出る。警告した。また、原発を今すぐ止めても、必要は現有の水力・火力発電設備で十分賄える。資源的にもウラン資源は化石燃料より早く枯渇すること。原発は「温暖化」対策に有効だとの考えがあるが、発電過程でCO₂の排出が少ないだけで、ウラン採掘、原発建設、廃棄物処理を含めると比較にならない。

時事川柳

解散と秋刀魚の煙匂う秋
宮崎のセイルスマンはそのまんま
天引きは振り込め詐欺の感しです
宵越しの銭を溜め込む地方自治
空港に仁王立ちして拒む樹々
不手際を血税で消す着地点
板倉 毅武

楽々パソコン教室(昼の部)ご案内

毎週水曜 午前10時から11時半
会場 元三島グランドホテル向かい
みしま市民新聞事務所2F
会費:月4千円、1回千円
【個別指導対応】
ワード、エクセル、画像処理、ホームページ作成等
パソコントラブルの相談
連絡先:055-986-1301(勝俣)

あなたは人を殺しましたか?

「To End the Misery of War」
～元アメリカ海兵隊員が「ほんとうの戦争を」語る～
アレン・ネルソンさんと共に
平和を考える集い
とき 11月16日(日)13時30分より
ところ 沼津労政会館3階ホール
【場無料】
講演者 アレン・ネルソン氏
オープニング 三味線演奏
沖繩民謡ほか
主催:ぬまづ憲法9条の会(連絡先:神田 921-7755)
後援:沼津市教育委員会

三島児童文学を語る会 357回

11月例会のお知らせ

日時: 11月22日(土)
13時30分～16時30分
場所: 三島市大社町防災センター研修室
テキスト 「山へ行く一家」
小出正吾文学全集2巻 P207
今こそ「読み聞かせ」が大事!
家庭で! 保育園・幼稚園・学校で!
児童館で! デイサービスで!

自然派ママたちの座談会

司法試験界の力強い伊藤真さんによる憲法講座
今回は「国民投票法」についてのお話です。
第2回 11/27(木) 午前10時～12時
会場 成真寺 本堂
三島市大社町7-56
連絡先:055-975-4740
参加費:1000円

伊豆市民劇場 第314回例会

民芸+無名塾公演
ライビング・ステージ
2009年2月13日(金)
開演/18:30 終演/20:15
作/アルフレッド・ウィリアム
演出/丹野 郁弓
演出/奈良岡朋子・仲代達也・千葉茂則・長森雅人
「老いてなお、人が自分らしく生きることの、高潔さを描いた、暖かくも美しい感動の作!」
連絡先:975-5455(事務局)
三島市大宮町1-4-30 樺ビル101